



学校教育目標 「自ら考え行動し、仲間とともに豊かな社会をつくる」
～つながる力・まなぶ力・つくる力～

No.19

庄内西小学校だより

令和6年(2024年)12月3日発行

校長 黒木優一



カラー版は『<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/shonai-n/>』をご覧ください。

学校教育自己診断保護者向けアンケート結果について

今年度の回答率は、受付期間を昨年度の3週間から10日程度に短縮したことが影響したのか75%（昨年度-7%）でした。たくさんの方のご意見を集約するためにも、次回はもう少し回答期間を延ばしたいと反省しております。ご協力ありがとうございました。

下のグラフからわかるように「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『肯定的回答』が今年度もほとんどの項目で80%を上回りました。

『タブレットなどのICTを活用し情報活用能力を育成しようとしている』

『基礎学力の定着と学力向上の取り組みをすすめようとしている』

この項目では、昨年度よりも肯定的な回答が大幅に増えており、大阪府の指定を受けて学校として『学力向上』に取り組んでいる様子が児童や保護者の方にも伝わっているのではないかと考えます。

何よりもうれしいことは、『子どもは楽しく学校に通っている』の項目で肯定的な回答が増えたことです。今年度は、各学級や児童会（委員会）を中心に学校生活が楽しくなるような取り組みがたくさん見られます。また、授業に対しても前向きな児童が増えているように感じます。あと数人の児童が肯定的でない回答をしていますので、すべての子どもたちにとって楽しく通える学校を目指していきたいと思ひます。

一方で、課題としてとらえなければいけないこととして、

『一人ひとりの多様性を尊重し、『ともに学びともに育つ教育に取り組んでいる』

の項目で肯定的でない回答が昨年度より若干増えたということがあります。中には、『ともに学びともに育つ教育』については「何のことを言っているのかわからない。」というお声もあり、支援教育について学校からの情報発信の不十分さ感じております。障害理解についても発達段階に応じた学習を進め、望ましい関わり方や配慮の仕方についての指導などを積極的に取り組んでいきます。

昨年度と比較して「わからない」といった回答が全体的に増加したことにつきましては、現在のHP中心の発信方法について検討するなど、課題として受け止めます。

集計結果やご意見(ご感想)については、教職員間で共有・総括し、今後の学校教育に活かしていきたいと思ひます。励ましのメッセージや温かいお言葉をくださった方もたくさんおられました。大変心強く励みになります。今後は保護者の方にも伝わるように積極的に情報発信していきたいと思ひます。これからも教職員一同力を合わせて頑張っていきますので、引き続きご協力よろしくお願ひします。

学校教育自己診断(保護者アンケート)結果



子どもは楽しく学校に通っている

学校は教育方針や学校生活の様子を通信やHPでわかりやすく伝えようとしている

学校はいじめや仲間外れなど、子どもが困っていることにはきちんと対応している

学校はいのちや人権を大切にすることを育てようとしている

学校は一人ひとりの多様性を尊重し『ともに学びともに育つ教育』に取り組んでいる

学校は社会や学校のルールを守る態度を育てようとしている

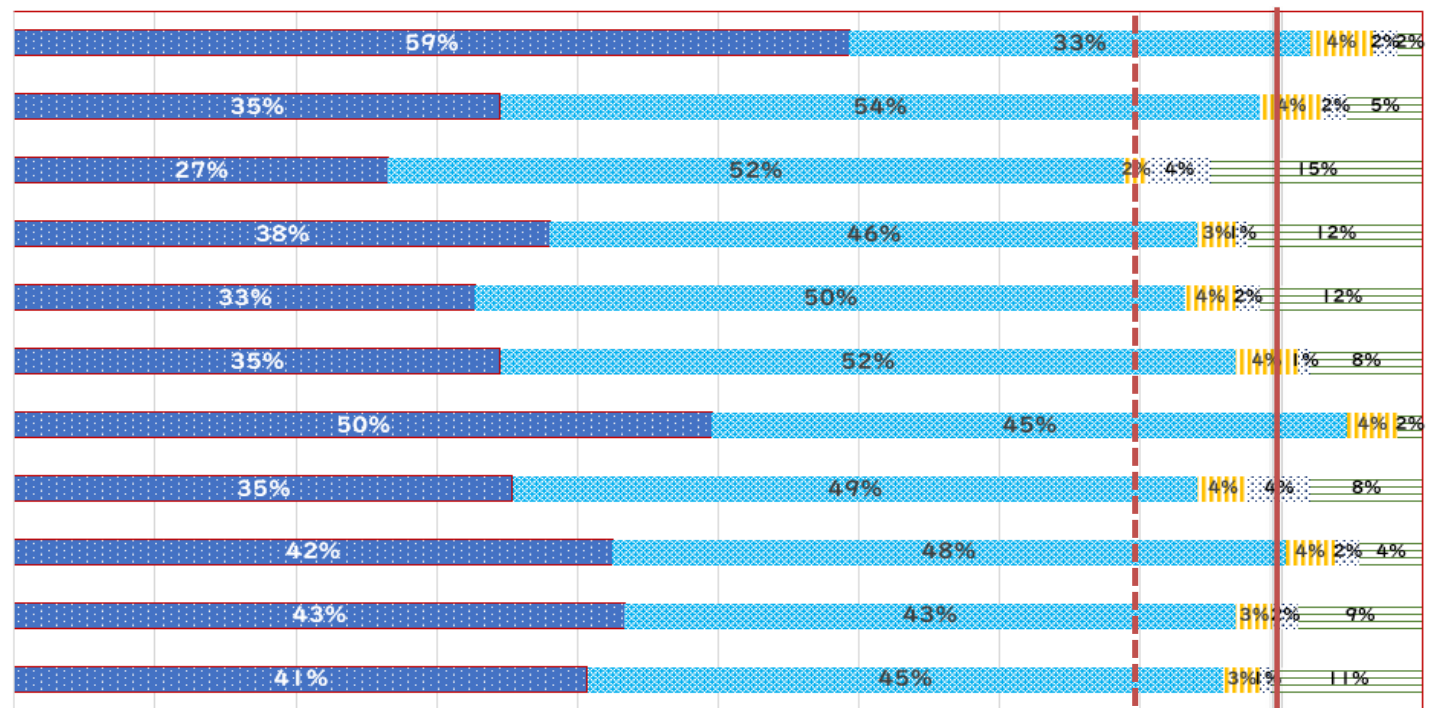
学校はタブレットなどのICTを活用し、情報活用能力を育成しようとしている

学校は基礎学力の定着と学力向上の取り組みをすすめようとしている

学校は安心安全な学校づくりに努めている

学校では子どもや保護者に関する個人情報保護されている

学校は保護者の相談を受け止め適切に対応している



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない

